

仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



いつもご覧いただきありがとうございます。

今回の更新で**28回目**となりました。

100万人の防災!

「生き残り」「生き延びる」ための地震対策を始めましょう!

■地震対策の特集

平成 20 年 5 月 22 日掲載

「ぱど」という情報誌はご覧になったことはありますか？

隔週の金曜日に発行され、仙台市やその近郊の各家庭に配布、若しくは地下鉄や JR の駅、コンビニの店頭などに設置されているフリーペーパーです。

2006 年の暮れから約 1 年半にわたり地震対策の特集コラムを掲載していただきました。

私たち仙台市消防局警防部予防課も特集コラムの作成に当たり、情報の提供や地震対策の考え方といったことを担当の方にお話しするなどして協力させていただきました。

このように広く市民の皆さんに「宮城県沖地震への備え」をお話させていただく機会を設けていただいたことを感謝いたします。

ありがとうございました。

今回はそのコラム記事を「そのまま終わらせるのはもったいない」「もっと多くの方にも見ていただきたい」と思い、「株式会社仙台ぱど」さんのお許しをいただき掲載します。

お題 1 イメージしてみよう

地震をイメージし、地震対策を何からはじめるか周囲を見渡すことを話しています。



(2006.12.01 ぱど掲載)

- お題 2 住まいのチェックをしよう
昭和 56 年を境に住宅の耐震基準が変わっています。



(2006.12.15 ぱど掲載)

- お題 3 ブロック塀の恐怖！
先の宮城県沖地震では多くの方がブロック塀の倒壊で亡くなっています。



(2007.01.12 ぱど掲載)

- お題 4 家具の転倒防止対策
家が大丈夫でも中の家具がそのままでは危険です。



(2007.01.26 ぱど掲載)

- お題 5 アパート、マンションの地震対策
集合住宅に住んでるといことは、隣人とは運命共同体です。



(2007.02.23 ぱど掲載)

- お題 6 家族会議を開こう
地震発生時、家族が一緒とは限りません。



(2007.03.23 ぱど掲載)

お題 7 地震が起きたら何が必要？
非常持ち出し袋には何が必要か？



(2007.4.20 ぱど掲載)

お題 8 自主防災組織とは？
いざという時、頼れるのはご近所の方。



(2007.05.11 ぱど掲載)

お題 9 被災地から学ぶ地震対策
新潟県中越地震、福岡県西方沖地震や能登半島沖地震での被災者の話を掲載しています。



(2007.05.25 ぱど掲載)

お題 10 揺れがおさまったらー自宅編ー
揺れがおさまったら、慌てず冷静に適切な行動を取りましょう。



(2007.06.22 ぱど掲載)

お題 11 揺れがおさまったらービル編ー
地震は自宅で遭うとは限りません。職場や出先での対策も考えましょう。



(2007.07.06 ぱど掲載)

お題 12 屋外で地震に遭遇したら

看板が落ちてくるかも。ガラスの破片が降ってくるかも。とどんな被害があるかわかりません。いつもの通勤通学経路や買い物先などは事前にチェックしましょう。



(2007.08.31 ぱど掲載)

お題 13 応急手当を身につける！

災害時はいつものように病院が機能しません。自分のみを守る応急手当の技術を身につけましょう。



(2007.10.26 ぱど掲載)

お題 14 緊急地震速報、スタート！

平成 19 年の 10 月から緊急地震速報がスタートしています。折角事前に発生が分かっても、とっさの行動は困難です。事前の準備をしましょう。



(2007.12.07 ぱど掲載)

お題 15 ペットの地震対策

ペットも大事な家族。避難するとき是一緒でしょう。この回は宮城野区福住町の菅原動物病院にアドバイスしてもらいました。菅原動物病院の菅原先生は自主防災活動の盛んな宮城野区福住町の町内会長をなさっています。



(2008.01.25 ぱど掲載)

お題 16 避難所生活で知っておきたいこと

避難所は行けばすぐに快適な生活をおくれるところではありません。被災者が協力して円滑な避難所を作り上げるものです。



(2008.05.09 ぱど掲載)

お題 17 帰宅困難者にならないために
仕事先で地震に遭った……。自宅の家族が心配だ
……。
でもどうやって帰ろうか……。



(2008.05.23 ばど掲載)

如何ですか？

イラストの登場人物「お父さん」が「地震おたく」になっていく様が秀逸だと思うのですが……。

コラムの中でも繰り返し出てきますが、地震対策にも Plan(計画)、Do(実行)、Check(点検)、Act(改善)という PDCA サイクルによる反復向上が必要です。

「お父さん」のようにマニアックにならないまでも、コラムの記事 1 つ 2 つからでも身の回りを見渡しては如何でしょうか？

一つ対策を施せば、その分被害が軽くなることは確実です。

一緒に宮城県沖地震を乗り切りましょう！